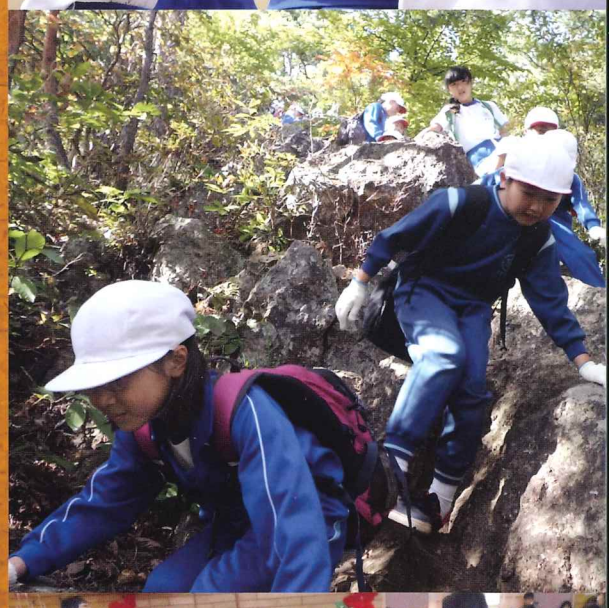
山形大学
Yamagata University

山形大学附属小学校
学校要覧
2019



http://www.yamagata-u.ac.jp/sho/

令和元年度　学校経営全体計画 山形大学附属小学校

関係法規等

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○同施行令、施行規則
○学習指導要領
○第六次山形県教育振興計画
○山形市学校教育の重点目標

学校教育目標

『太陽の子』　本質を見極める
常に希望に燃え、創造力豊かな子ども

『北国の子』　強い意志をもつ
困難に打ち勝ち、強い心と体をもつ子ども

『日本の子』　高い価値をめざす
日本人として誇りをもち、たゆまず学ぶ子ども

学校・児童の実態

○創立141周年の伝統ある学校。
○児童は山形市内全域から通っている。
○589名の児童は感性が豊かで、意欲的に学ぼうとしている。
○保護者は教育への関心が高く協力的である。

めざす子どもの姿

研究テーマ
よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び

○授業やくらしにおける問題解決を通して、子ども自身が学びのよさを実感しながら生き方を少しずつかたちづくっていくことができる教育実践を追究する。

☆授業研究会（年間）
☆探究型学習研修会（6月）
☆授業づくり研修会（11月）
☆カリキュラム研修会（2月）

経営の方針

140年を超える質の高い教育の継承と新たな時代を拓く「附小モデル」の創造・発信

1．大学（附属学校運営部）及び附属学校園（特支・幼・小・中）の叡智を結集し、新たな時代を牽引する教育実践を創造・発信する。
2．大学及び地域の教員と「共に考え、共に創る」研修会を開催し、よりよい自分に向かって歩み続ける子どもを育てる教育課程及び授業の在り方を追究する。
3．教育実習の充実・改善を図り、様々な教育課題に対応できる教員の養成・資質向上に寄与する。

めざす教師の姿

○一期一会を大切にする教師
○自ら学び続ける教師
○子どもへの深い愛情と洞察力をもつ教師
○自らと同僚を生かす教師
○学校経営に積極的に参画する教師

望ましい保護者の姿

○子どもの思いを受けとめ、支え希望を与える保護者
○子どもを指導できる責任ある保護者
○保護者同士の理解を深め合い支え合う保護者

経営の重点

すべての子どもと教職員が「安心」と「生き甲斐」を感じられる学校をつくる

「よりよい自分に向かって歩み続ける子ども」が育つ教育課程の工夫と授業改善

○学校の教育活動全体で進める道徳教育の充実
○「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす学級・学年カリキュラムの推進と改善
○仲間の輪・和を広げる異学年交流活動（みのり班活動）、体験活動の推進と改善
○視野を開く英語教育の充実

＊特支・幼・小・中の連携・協働による教育課程の研究・改善（附属学校運営部、学校園長）

児童個々の課題に応じた指導・支援の充実

○まつなみ支援室を核とした子ども理解の共有・深化と「すべての子どもが安心して学べる」教育環境の充実
○特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、メンタルケアコーディネーターの専門性を生かす個々に応じた切れ目のない支援
○生徒指導の5つの場（自己決定・存在感・人間的ふれあい・相手との関わり・発達の可能性を最大限に発揮する場）を活かす教育活動の展開
○業務の効率化による、個々の児童のより細やかな理解と対応を行える時間の創出

信頼される学級・学年・学校づくり

○4つの誓い「さわやかで元気なあいさつ」「話は目と耳と心で聴く」「小さな社会人として地域のお手本になる」「一日一善」を常に意識した実践活動の展開
○適時・適切な記録と情報発信（※附小デジタルアーカイブの検討・立ち上げ）
○保護者及び学校評議員等の学校評価を生かす経営改善
○保護者の教育力を活かし高める研修会等の計画・運営

学校の教育活動全体で行う道徳教育の方針及び重点

1　道徳教育の方針

○学校教育目標（「太陽の子」・「北国の子」・「日本の子」）に基づき、希望と勇気、強い意志と、日本人としての誇りをもって学び続ける子どもを育てる。
○附属学校園で学び合う仲間「友だち」を大切にする子どもを育てる。
○山形県の子どもとして「いのち」（生命と生き方）を尊重する子どもを育てる。

2　道徳教育の重点

○生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。
○友だちと互いに信頼し合い、学び合って友情を深め、助け合いながら人間関係を築いていくこと。
○希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやりぬくこと。
○我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。

研究の全体構想

〈研究主題〉よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び

生き方がかたちづくられ、子どもが生涯にわたるしあわせを
実現していくことにつながる学びの在り方について研究していく。

学びの在り方について

生き方は、各教科等やくらしにおける問題解決に取り組む中で、
少しずつかたちづくられていくと考えている。

鍵は 事象とのつながりを太らせること

大切にしたいこと
- ○問いをもつこと
- ○学びのよさを実感すること
- ○「見方・考え方」が生きて働くようになること
- ○学びとくらしを一体として考えること

<今年度の取り組みの視点>

子どもの問題解決にかかわること

視点1…子どもが「問い」をもつ
⇒ 子どもの思い・願いと、学習の価値が結び付くような、わたしたちの働きかけ

視点2…子どもが「学びのよさを実感」する
⇒ 学びのよさや自分の変容について、子どもが自覚したり、子どもの中に蓄積されたりするような学習のあり方

他教科やくらしの中でも「見方・考え方」が生きて働くようになるということにかかわること

視点3…子どもが「これまでの学び」をいかす
⇒ 子どものくらしに密着した事柄と教科等の内容をかかわらせた学習のありかた
⇒ カリキュラムの評価・改善

教育実習

教育実習の目的

教育実習は、学校教育における教科・道徳・外国語活動・特別活動・総合的な学習の時間、生活指導、学級経営、学校運営及び地域社会との関係などの多様な実践的体験を通じて、教育理論や教育実践の実地研究に取り組み、学校教育の実態や問題点の把握及びその解決方法の習得を期して行う。

本校は、大学の附属校として、上記の目的を達成するために、その任務を積極的に遂行していく。

教育実習

◎教育実践基礎実習(2年次)
A 班：8月26日(月)～8月30日(金)
B 班：9月 2日(月)～9月 6日(金)

◎教育実践実習(3年次)
8月26日(月)～9月13日(金)

◎教育実践実習(4年次)
8月26日(月)～9月13日(金)

◎養護教諭特別別科実習
8月26日(月)～9月13日(金)

◎教職専門実習Ⅰ(教職大学院)
6月17日(月)～7月 5日(金)

その他　科目等履修生実習(2週間)
栄養士臨地実習(2週間)

週日課表

●1～6年の授業　◎該当学年の授業

時間		月	火	水	木	金
～ 8:30		登校・着替え・準備				
8:30～8:55		朝学習・朝の会	朝学習・朝の会	朝学習・朝の会	朝学習・朝の会	朝学習・朝の会
8:55～9:40	1	●	●	●	●	●
9:45～10:30	2	●	●	●	●	●
10:30～10:50		休み時間				
10:55～11:40	3	●	●	●	●	●
11:45～12:30	4	●	●	●	●	●
12:30～13:15		給食				
13:15～13:50		昼休み・清掃	みのり班活動	昼休み・清掃	しごと5・6年(学級清掃)	昼休み・清掃
13:55～14:40	5	●	●	◎ 2～6年	●	●
14:40～14:45		終わりの会		終わりの会		
14:45～15:30	6		◎ 3～6年		◎ 5～6年	◎ 4～6年
15:30～			終わりの会		終わりの会	終わりの会

最終下校時刻　4校時授業 14:30　5校時授業 15:30　6校時授業 16:10

- ●登校 ＝朝7:50～8:15
- ●全校朝会 (年間5回)
- ●朝の学習タイム ■年間を通じて実施　15分間
- ●みのり班活動 ＝13:25～13:50
- ●クラブ活動(4～6年) ■2時間扱い 14:00～15:30
- ●「しごと」の時間 ■木曜日の清掃時間 13:35～13:50
- ●代表集会 (3～6年の代表が参加) 15:00～15:45
- ●みのり班清掃(縦割り) ＝13:35～13:50
- ●学級清掃(木曜日) ＝13:35～13:50
- ●簡単清掃(クラスごと)

放課後：弦楽・合唱の活動

児童数

学年	学級		男子	女子	合計
1	3		42	57	99
2	3		49	48	97
3	3	1(3・4複)	53	44	97
4	3		47	51	98
5	3		48	50	98
6	3		48	52	100
合計	19		287	302	589

R1.5.1 現在

沿　革

明治11.10. 1　山形市香澄町、七日町両校の児童360名を入学させ、旅籠町に山形県師範学校附属小学校を開校する。
同33. 4. 8　校舎を六日町（現緑町二丁目）に移す。
同36. 5. 1　山形市第一小学校校舎の一部および尋常科5学級を借り受けて、山形県女子師範学校附属小学校を開校する。
同37. 4. 1　女子師範学校寄宿舎の一部を使用して、尋常科および高等科女子を募集する。
同38.12.25　香澄町横町南（現十日町一丁目）に女子師範附属小学校の独立校舎が落成する。
同41. 4. 1　尋常科の修業年限を6ヵ年に延長し、高等科の修業年限を2ヵ年に改める。
大正14.10　皇太子殿下が、女子師範附属小学校で教育実習生の授業を御覧になる。
昭和16. 4. 1　国民学校制の施行に伴い、小学校をそれぞれ山形県師範学校附属国民学校、山形県女子師範学校附属国民学校に改称する。
同18. 4. 1　師範学校の官立移管に伴い、それぞれ山形師範学校男子部附属国民学校および女子部附属国民学校と改称する。
同22. 4. 1　学制改革に伴い、国民学校を小学校と改称する。また、それぞれの高等科をもって附属中学校を創設し、これを併置する。
同24. 4. 1　附属小学校P・T・Aが発足する。
同24. 7.15　学制改革に伴い、それぞれ山形師範学校第一および第二附属小学校となる。
同26. 4. 1　新制大学制度の実施に伴い、両附属小学校を統合し、新築校舎落成とともに、十日町に山形大学教育学部附属小学校として発足する。5月20日を開校記念日と定める。
同27. 8. 3　旧制第一、第二附属小学校同窓会を統合し、新たに山形大学教育学部附属小学校同窓会として発足し、第1回総会を開く。
同28. 4. 1　1・2年複式学級を併設する。
同29.10.28　附属小学校校歌を制定する。
同29.10.30　附属中学校敷地内（現山形市民会館）に附属学校プールを新築する。
同31. 4. 1　3・4年複式学級1学級を増設し複式2学級とする。
同36. 4.11　標準服を制定し新入児童に着用させる。
同37. 8.21　体育館を十日町に新築落成する。
同43. 4. 1　普通・複式・特殊各一学級増。5月10日特殊学級開級となる。副校長制を採用する。
同44. 3.11　新営校舎で授業を開始する。スクールバスの運行を始める。
同44. 5.10　附属幼稚園・小学校・中学校の新営校舎落成式を行う。
同44.11.28　附属第2プールの新築落成なる。
同44. 5.12　附属校園給食センターを開設し、小学校の給食を開始する。
同44.10.26　グラウンド整備をほぼ完了し、祝賀大運動会を行う。
同44.11.18　附属幼稚園・小・中学校の完全給食を開始する。
同45. 8.30　中庭みのり園の移転復元工事を完了する。
同46. 9. 1　校地北側に池（ひょうたん池）を造成し、工事完了する。
同49. 4. 1　養護学校の独立により普通18、複式3、計21学級となる。
同49. 9.26　小学校課程3年次学生の教育実習が始まる。
同50.10. 1　研究図書「授業過程の基本型と展開」を出版する。
同53. 6.20　百周年記念事業の一環としてオーケストラの楽器購入。オーケストラを編成する。
同53.10. 1　創立百周年記念諸行事ならびに祝賀会を開く。
同55. 4.28　創立百周年記念碑の除幕式を行う。
同58. 3.28　2棟の校舎（1,118㎡）の増築落成なる。
同59. 5　「自己実現をめざす子どもを育てる山大附小プラン」の発刊（低・中・高3分冊）。
同60. 5　『自己実現をめざす子どもを育てる－「充実」した学校生活の創造－』を出版する。
同61. 3.28　校舎大改修工事完了する。
同62. 3.27　体育館改築竣工なる。
同62.10.20　附属学校園前（県道）に地下道開通し、完成を祝う。
平成元.11.30　グラウンド全面改修完了する。
同 2. 6. 5　『「個が育つ」授業の創造』を出版する。
同 4. 6. 4　『自ら生活を創造する子どもを育てる「山大附小プラン」』を発刊する。
同 4. 9.12　学校週五日制による休業日が施行される。
同 4.10. 4　第47回国民体育大会秋季大会開会式演技「紅の詩」へ6年全員参加する。
同 6. 7.10　25Mプール完成
同 8. 3.31　ＬＬ教室を改修し、コンピューター室が完成する。
同 8. 4.10　『確かな変容が見える授業の創造』を出版する。
同 8. 9. 4　グラウンド全面改修する。
同 9. 3.17　低学年中庭の人工芝全面張り替えをする。
同10. 9.30　未来へのメッセージ「タイムカプセル埋設」（西暦2029年9月15日開封）
同10.10. 1　創立120周年記念諸行事及び祝賀会を開く。
同12. 8.20　校内コンピュータネットワーク完成
同13. 3.31　『仲間とともに夢と文化を創造する子どもを育てる「附小プラン」』を発刊する。
同13. 5. 1　創立120周年記念誌『太陽の子われら』、記念ＣＤ『みのりの四季』を発行する。
同13. 9.22　赤、白、黄、青の四組対抗での秋季大運動会を実施する。
同14. 4　午前3校時、午後3校時の日課表での授業開始。
同16. 2　校舎周辺フェンス及び門扉の改修工事、各通用門周辺監視用カメラ設置。
同16. 3　給食室の改修工事（ドライ化工事）
同16. 4. 1　国立大学から『国立大学法人』へ移行。
同16. 4　ガードマンによる巡視、監視カメラでの安全対策を取る。
同17. 4. 1　学部附属小学校から『山形大学附属小学校』へ移行。
同19.12.13　防災ガラス設置（体育館）
同20. 3　トイレ改修
同20.10.10　創立130周年記念式典
同21. 4. 1　山形大学附属学校運営部体制、校長専任化へ移行。
同21. 6　教職専門実習（教職大学院）が始まる。
同22. 9.11　みのりスポーツフェスティバル実施
同23. 3　1・2年複式学級閉級
同23. 4　附属学校特別支援教育コーディネータ・メンタルケアコーディネータ配置
同24. 4　附属学校園まつなみ学習支援室開設
同25.11　校舎耐震化改修工事が始まる。
同26.12　新給食センター稼働
同27. 3　5・6年複式学級閉級
同27. 3　校務支援ソフト導入
同27. 4　附属学校英語教育コーディネータ配置
同27.10　校舎改修工事が完了する。
同28. 4　道徳教育推進教師の配置
同29. 6　『「学び続ける子ども」が育つ授業の創造』を出版する
同30. 5.19　創立140周年記念外構壁画制作
同30.10. 1　創立140周年記念式典・講演・コンサート

研究のあゆみ

■ 昭和44～46
授業の組織化による子どもの変容

■ 昭和47～50
学力の創造と授業過程

■ 昭和51～54
自己表現をめざす子どもの育成

■ 昭和55～59
学校生活における「充実」の探究

■ 昭和60
子どもが「充実」する授業の創造

■ 昭和61～平成7
自ら生活を創造する子どもの育成

■ 平成8～平成15
仲間とともに夢と文化を創造する子どもの育成

■ 平成16～平成23
自ら学びをもとめ続ける子どもの育成

■ 平成24～平成28
学び続ける子どもの育成

■ 平成29
『たくましさ・しなやかさ』が育つ学び

■ 平成30～
よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び

みのりの1年
（年間行事）

2019

4月
- 4/5 新任式・前期始業式
- 4/8 入学式
- 4/9 給食開始（2～6年）
- 4/10 給食開始（1年）
- 4/16 交通安全教室（1・2年）
- 4/17 身体計測
- 4/18 全国学力・学習状況調査（6年）
  県学力等調査（5年）
- 4/20 学習参観①、PTA総会、PTA歓送迎会
- 4/26 1年生を迎える集会

5月
- 5/7 新理事評議員会・PTA専門部会
- 5/16 附特交流①
- 5/17 開校記念式・チャレンジ記録会
- 5/22 バスの乗り方交通教室（1年）
- 5/23 教育課程説明会・学習参観②
- 5/28 下学年音楽教室
- 5/30～31 4年宿泊学習（庄内方面）

6月
- 6/4 市陸上運動記録会（6年）
- 6/6 学校評議員会①
- 6/17 教職専門実習
- 6/21 探究型学習研修会
- 6/25 みのり遠足
- 6/26 1年保護者学習会

7月
- 7/2 上学年音楽教室
- 7/3～5 修学旅行（6年、北海道方面）
- 7/4 附特交流②
- 7/18～19 5年宿泊学習
- 7/24 市水泳記録会（6年）
- 7/27～8/19 夏季休業

8月
- 8/24 学校説明会
- 8/26～ 教育実習開始

9月
- 9/7 みのりスポーツフェスティバル
- 9/26 附特交流③

10月
- 10/2 前期終業式
- 10/3～4 個人面談・懇談資料配付
- 10/7 後期始業式
- 10/11 自然体験学習（3年）
- 10/16 授業づくり研修会事前研
- 10/18 みのり登山
- 10/24 市民合同音楽祭

11月
- 11/7 授業づくり研修会①
- 11/12 附属小中合唱交流会
- 11/15 授業づくり研修会②
- 11/21 附特交流④
- 11/23 フリー参観・PTAレクリエーション大会

12月
- 12/4 弦楽・合唱部クリスマスコンサート
- 12/21～1/6 冬季休業

2020

1月
- 1/17 雪上教室（1年）
- 1/21 幼小給食交流会
- 1/23 附特交流⑤
- 1/22・27 3・4年スキー教室
- 1/24 5・6年スキー教室
- 1/28 雪上教室（2年）
- 1/31 学習参観③、学級懇談会

2月
- 2/6 カリキュラム研修会
- 2/20 学校評議員会②
- 2/26 安全衛生委員会
- 2/28 6年生を送る集会、PTA専門部会反省会

3月
- 3/3 みのり班解散式
- 3/5 6年同窓会入会式
- 3/18 修了式
- 3/19 卒業証書授与式
- 3/26 お別れの会

校歌

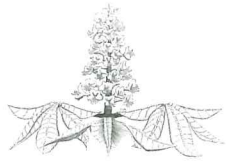
作詞　神保光太郎
作曲　佐治　恒夫

朝だ　朝だよ　輝く朝だ
太陽の子われら　希望に燃えて
すくすくのびる　ラララ ラララララ
われら　ひかりの山形附属

山だ　山だよ　蔵王の山だ
北国の子われら　あらしに負けず
たゆまず学ぶ　ラララ ラララララ
われら　ちからの山形附属

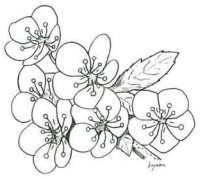
花だ　花だよ　さくらの花だ
日本の子われら　足なみそろえ
未来をひらく　ラララ ラララララ
われら　ほまれの山形附属

学年の木



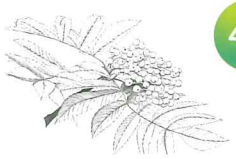
1年　はなうめ

3年　ななかまど



5年　ゆずりは

2年　とちのき



4年　なつめ

6年　ゆきやなぎ

教職員一覧

教員

樋口　潤一	校長	
高橋　浩	教頭	
奈良﨑芳晴	主幹教諭 5年3組	タイム・算数
渡邊弘晶	教務主任 担外	理科
長岡初美	教務副主任（4年付）	音楽
芦野繁樹	担外（3年付）	図工
佐藤大将	担外（5年付）	外国語
江波　大	担外（6年付）	タイム
井上麻美子	1年1組	国語
青山詩織	1年2組	家庭
後藤啓太	1年3組	生活
神保諒一	2年1組	生活
吉田美有紀	2年2組	体育
清野真美子	2年3組	国語
髙橋　茜	3年1組	理科
青柳孝一	3年2組	社会
成澤結香里	3年3組	算数
相澤明菜	3・4複	国語
逸見裕輔	4年1組	道徳
槙　正智	4年2組	外国語
鈴木譲二	4年3組	社会
川田　大	5年1組	算数
安孫子力也	5年2組	国語
水川祐一	6年1組	体育
早坂和重	6年2組	算数
嵐田史子	6年3組	音楽
鈴木恵子	養護教諭 担外	
江口知子	栄養教諭 担外	
鈴木　崇	担外（1年付）	
鈴木彩文	担外（2年付）	
山田梨紗子	担外（2年付）	
早坂美紀	特別支援教育コーディネータ	
鎌田弘子	メンタルケアコーディネータ	
小林明日香	まつなみ学習支援員	
太田　優	スクールカウンセラー	

事務職員等

石井　滋	事務室長
高橋弘美	副事務室長
笹　智子	事務主任
関野恵美子	事務専門職員
安部裕美	調理師
佐藤洋子	事務補佐員
佐久間貴子	事務補佐員
東海林亜希子	事務補佐員
後藤博子	PTA 事務
中村久美子	図書事務
折原麻美	臨時用務員
清原朋子	臨時用務員
千葉昭子	臨時用務員
吉田　薫	臨時用務員
法身繁三	派遣職員
井上盛雄	派遣職員

学校医

三井哲夫	内科
佐藤浩章	眼科
野田大介	耳鼻科
橋本憲二	歯科
林　博史	精神科
山﨑公夫	薬剤師

〒990-0023　山形市松波二丁目7-2
TEL：(023)641-4444　FAX：(023)641-8594
E-mail：minori@fusho.yamagata-u.ac.jp
http://www.yamagata-u.ac.jp/sho/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。